

第6回由良川大規模内水対策部会 議事概要

日時：令和3年5月24日（月） 13:00～13:45

場所：WEB開催

【出席者（順不同）】

福知山市 前川副市長（大橋市長代理）
舞鶴市 堤副市長（多々見市長代理）
綾部市 市長公室 岩本危機管理監（山崎市長代理）
宮津市 建設部 森口建設部長（城崎市長代理）
京都府 建設交通部 富山部長
気象庁 京都地方气象台 内藤台長
近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 矢野所長

【マスコミ（順不同）】

朝日新聞社、京都新聞社、毎日新聞社、両丹日日新聞社、FMいかる、建設タイムズ、あやべ市民新聞

【議事-1】各機関の取組の進捗状況の確認

〈福知山市〉

- ・国、府と連携し、大江町河守・公庄地区で内水被害軽減対策として、公手川改修、調節池、排水ポンプの整備を実施。
- ・市としても危機管理型水位計を3か所設置。
- ・ソフト対策として、主に3つの取り組み①避難行動開始のスイッチとなる基準水位を設定、検証を実施。②防災アプリを開発、運用を開始。③マイマップ・マイタイムラインを作成、訓練の実践の取組を継続。

〈舞鶴市〉

- ・輪中堤内の内水被害の軽減として、発生メカニズムの解析を実施。浸水被害が特に大きい志高地区において実施し、避難指示等にデータの活用をしている。
- ・内水ハザードマップ、避難行動タイムラインは、引き続き作成に取り組んでいく。
- ・舞鶴市ではビッグデータ+AIによる効率的な見守りの実現を目指し、「舞鶴市総合モニタリングシステム」の開発を進める。
- ・排水ポンプは昨年同様、事前に本市の加佐分室へ移動し運用する予定。

〈綾部市〉

- ・避難の実効性を高めるために、防災講座等において自治会長に、水害等避難行動タイムラインの作成をお願い。市職員等が作成支援を実施。引き続き地域全域に向けて取組む。
- ・綾部市街地の雨水対策について、排水ポンプ車1台を導入。現在、令和4年度の共用を目

標に雨水ポンプ場の整備しできるだけ早い時期に供用を開始したいということで取り組んでいる

〈宮津市〉

- ・由良地域においても災害発生などの恐れがあるときは、自主的な避難行動を起こせるよう、地域住民が主体となって地区防災計画の作成に取り組む。
- ・由良地区の浸水・内水被害の課題として、二つ。①由良川の河川整備計画に対する地域住民との合意を図る。②由良川本川の治水対策と市の内水対策の整合を図り、市の雨水排水計画を国土交通省と共有し、樋門構造等の形式等の整合を図るなどし、地元の合意形成に取り組む。

〈京都府〉

- ・大野ダムの事前放流目標水位を従来の標高 155m から標高 150m まで引き下げる取組に着手し、今年 6 月 1 日から本格運用の予定。
- ・危機管理型水位計は令和元年度に 25 か所設置、現在、合計 53 か所の水位計を設置し、HP で公表しておりデータを活用いただきたい。簡易型河川監視カメラについては 11 か所の設置で、機管理型水位計と併せて、活用の効果を検証したい。

〈京都地方気象台〉

- ・大雨特別警報解除後の大河川の洪水警戒に関する伝え方について、令和元年東日本台風において、大雨特別警報解除の切り替えが洪水に対する安心情報と誤解された可能性があった。大雨特別警報解除時にまだ洪水の危険性がある場合はその危険性を伝える。
- ・洪水警報の「危険度分布」の表示改善について、由良川本川での流路に内水氾濫の危険度を表示出来るように改善。具体的には湛水型の内水氾濫の危険度を常に確認できるようになっている。

〈福知山河川国道事務所〉

- ・内水被害軽減に向け、由良川本川の樹木伐採、河道掘削を実施している。
- ・大江町の河守・公庄は、国、府、福知山市において連携しながら行っている。国土交通省としては、本川水位を下げる河道掘削並びに樹木伐採をに実施。
- ・志高地区では、水位を下げる対策とし、河道掘削並びに樹木伐採を実施。
- ・排水ポンプパッケージの導入による内水被害の軽減、排水処理設備の確保として、排水ポンプパッケージの購入を行った。簡単に言うと排水ポンプ車のトラックがないものと思っていた。ポンプやホースがセットになったものを配備した。
- ・福知山河川国道事務所所有の土のう造成機を各自治体に貸し出し、事前に土のうを製造する等の支援を行い、さらには防災訓練等にも活用し地域の防災力の向上を図る。昨年度は自治体への貸し出し。今後、水防活動や防災訓練での活用を想定。
- ・由良川本川において、危機管理型の水位計を設置。

【議事-2】 今後の予定

- ・質疑応答なし

【その他】

・福知山河川国道事務所から報告のあった、排水ポンプパッケージはとてもありがたいと思う。どのように配備されて運用される予定になっているのか、排水ポンプ車との関係も含めて教えて欲しい。【京都府】

・内水被害の軽減に向けて、福知山河川国道事務所の排水ポンプ車は配備している。それ以外にも、大規模内水被害の時は近畿地方整備局管内の排水ポンプ車を配備することとなっている。ただし、近年降雨が集中化、激甚化しており、管内のポンプ車を集めてくるのが難しい場合もあるため、排水ポンプ車で間に合わない時には排水ポンプパッケージを活用する。4トントラックに載せて運搬する必要があるが、使いどころは多いと考えている。【福知山河川国道事務所】

・国、府、市で所有している排水ポンプ車は少しずつ充実してきている。同時多発的に内水被害が発生したときにうまく運用できるよう、関係機関間の調整を進めて行きたい。【京都府】

・本来、内水対策部会でも対面で関係機関との調整ができていたが、新型コロナウイルス蔓延防止のための緊急事態宣言の影響で、対面ではなくテレビ会議での開催となり、意思疎通を行っていくと考えている。幸いにも昨年は大きな災害がなかったが、今年は梅雨入りが早く、先週は九州の方で大雨があった。関係機関の皆様とは電話やメール、テレビ会議などで情報共有や状況の把握等進めて行きたいと考えており、引き続きよろしくお願ひしたい。

【福知山河川国道事務所】

以上